

ECB2 ブレーキフルード交換作業(定圧保持式)

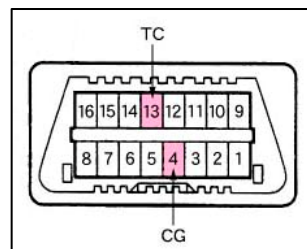
作業を合理化したECB2のブレーキフルード交換作業です。

- ・リザーバータンクのブレーキフルードはスポイトで交換しておく。
- ・交換作業は診断コネクタTCとCGを短絡してIG・ONで行う。
- ・作業後に警告灯が点灯する時は、異常コードを消去する。

消去作業: バッテリーを外しても消去できません。
(重要部位の故障は点灯したままとなる)

診断コネクタTCとCGを短絡して、IG・ONでブレーキ・ペダルを
5秒間に8回以上踏むと消去される。

- ・注意: この作業方法はメーカー推奨ではありません。自己の責任において作業して下さい。



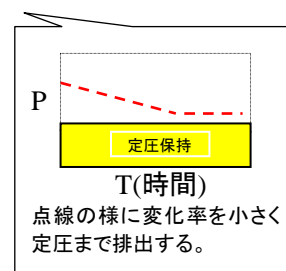
(1) フロント・ブレーキ(ペダルを踏んで一般的ブレーキの様に行う)

- ・ブレーキ・ペダルをペダリングし、フロント・ブレーキ・シリンダのブリーダ・プラグより行う。
 - ・古いブレーキフルードが完全に抜けるまで繰り返し行う。
- ※ フロントはフェイル状態(SMC1,2 開)にして、マスタ・シリンダのフルードを交換する。

(2) リヤ・ブレーキ(ペダル・ストッパで踏んだままにして、定圧保持する)

- ・ブリーダ・プラグを少し開いて、2秒間位静かに排出してプラグを閉める。
 - ・上記を2~3度繰り返した時に、ポンプモータが回転する位の排出量が適量です。
- ※ リヤはフェイル状態にしない様に、排出はゆっくり静かに行う。

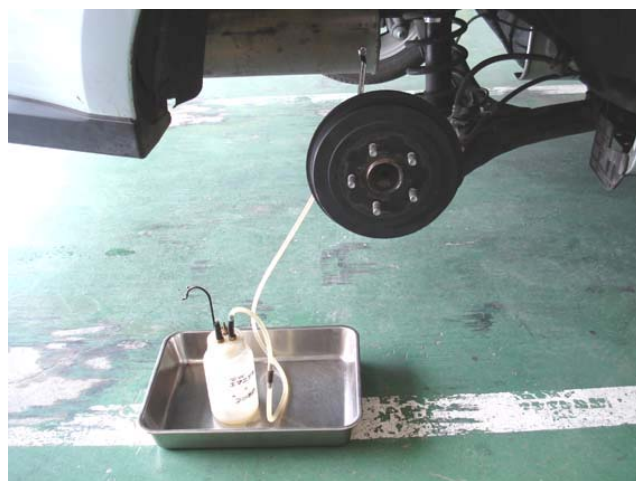
- ・排出中にポンプモータが回転を始めたら、素速くプラグを閉める。
- ・排出中にポンプモータ以外の作動音がしたら、素速くプラグを閉める。
- ・作業中にフルードが出なくなった場合はフェイル状態になったので、反対側を実施するか、又は消去作業を行う。



ペダル・ストッパで踏んだ状態にする



ブリーダ・プラグを少し開いて静かに排出



※ ECB2の構造作動は平成17年度版整備主任者技術研修(学科編)を参照して下さい。

これで苦勞なくできます。

ダイハツ ダイアグノーシス・コードの消去作業用ツール



自己診断トリガー(日本ベンチャー)

